

合同ゼミの感想と反省

西尾拓真・神保宏大・萱野敦子・増田早智子

1. 合同ゼミの準備に関する感想と反省

今回の合同ゼミは僕にとって初めて班のリーダーをやるという体験や、うちの班は他の班と比べて4人と少ない状況からのスタートになる、ということなどいろいろと不安がありました。テーマがトヨタという日本が世界に誇る大企業をやることになり、中途半端では終われない、という気持ちを持って準備に取り掛かりました。最初は班長である僕の方不足もあり、うまくみんなをまとめられず最初のプレゼンの予行練習でまともに発表できず、藤井先生に怒られてしまいました。それからみんなの団結力が必要だと改めて思い、僕はみんなに役割分担をしっかりと指示してそこからうまくみんなにまとまりができて、そこからプレゼンの形ができました。トヨタということもあり、東洋の図書館とネットで大量の情報を集めることができ、比較的に関心は集めやすかったです。

2. 当日の報告内容とそれに対する質疑の概要

私たちはトヨタについて発表していて、相手ゼミの班は日産について報告していました。私たちの報告内容は

- ① トヨタの経営状況
- ② トヨタのこれまでの経営戦略
- ③ トヨタの新たな経営戦略
- ④ まとめ

の順に報告しました。これらを相手ゼミのテーマ「日産」と比較しながら報告してきました。世界シェアや売り上げなど現状日産に勝っているトヨタなので、これかもそれを維持していけるのか、トヨタの懸念の一つでもあった新興国でのこれからの経営略が通用するのか、などトヨタの将来性についての質問が多かったです。

3. 合同ゼミに対する感想と反省

今回は初めにしては、やることはやったと思います。ただプレゼンにあたっての反省はプレゼンの発表時間の個人差が激しく、特に自分だけが一方的に発表していた感があるので、もっと班のみんなの発表時間が均等になるように調整するべきだったと思います。うまくみんなをまとめようとして空回りしていたかもしれません。しかし言いたい事も発表できたし団結することが大事だと改めて理解できたなど、これから三年生になるにあたって貴重な体験ができたと思います。